

## ＜事務事業評価表＞

平成26年度

甌島地域振興事業

評価表

No. 2

[単位：千円、人]

1 事務事業の位置付け (Plan)						
所管部課名	企画政策部 企画政策課		担当者	山下 真司		
根拠法令等			マニフェスト関連	<input type="checkbox"/>		
事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業	<input type="checkbox"/> 建設・整備事業	<input type="checkbox"/> 施設管理	<input type="checkbox"/> 内部管理		
事業の種類	<input type="checkbox"/> 特定事業	<input type="checkbox"/> 義務的事業	<input checked="" type="checkbox"/> 裁量事業			
政策	みんなで進める市民参画のまちづくり		施策	市民参画の推進		
			小施策	広聴広報の充実		
予算科目等	会計	一般会計				
	款	総務費	項	総務管理費	目 企画費	
	事項	甌島地域振興費		細事項	甌島地域振興費	
2 事務事業の実施 (Do)						
事業の内容	概要	国・県など関係機関との協議、及び県が行う特定離島ふるさとおこし推進事業の実施調整など、甌島地域に関する施策等の総合調整を行う。 加えて、県離島振興協議会、甌島振興協議会の事業及び運営に対し、補助及び負担金による支援を行う。				
	対象（誰を、何を対象とする事業か）	甌島の住民				
	意図（どのような状態にしたいのか）	地域の振興に主体的に取り組み、将来的に持続可能な地域づくりを達成する。				
	手段（市がどのような活動をするか）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・甌島の振興について主体的に取り組む組織づくりの調整、促進</li> <li>・県離島振興協議会に対する負担金の支出</li> <li>・甌島振興協議会に対する補助金の支出</li> </ul>				
	事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (⇒ 年度 ~ 年度)				
	活動指標	指標名	目標値	目標年度		
	成果指標	甌島振興事業の把握	年1回	H31		
	甌島における社会動態(転入転出に伴う人口の動き)	±0	H31			
経費及び指標の推移	項目	平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 予算額	平成27年度 見込額	平成28年度 見込額
	事業費	2,480	2,862	2,933	3,338	3,338
	普通旅費	288	224	295	500	500
	負担金	1,792	2,238	2,238	2,238	2,238
	補助金	400	400	400	600	600
	甌島振興協議会補助金	400	400	400	600	600
	財源内訳					
	国・県支出金					
	その他		20	20		
	一般財源	2,480	2,842	2,913	3,338	3,338
要員配置状況	0.70	0.70	1.00	1.50	1.50	
職員	0.70	0.70	1.00	1.50	1.50	
嘱託員						
臨時職員等						
活動指標の推移	1	1	1	1	1	
成果指標の推移	-79	-12	-40	-30	-20	
特筆すべき事項等						

## ＜事務事業評価表＞

3 事務事業の視点別評価 (Check)					
妥当性	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">対象・手段の妥当性</td> <td style="padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> 妥当である</td> <td style="padding: 2px;"><input type="checkbox"/> 改善の余地はある</td> <td style="padding: 2px;"><input type="checkbox"/> 妥当ではない</td> </tr> </table> <p style="margin-top: 5px;">(上記選択の理由)                      少子・高齢化、過疎化など、本土地域よりも深刻な課題を抱える甌島地域において、地域全体として解決策を見出し、具体的に実践していくものであること。</p>	対象・手段の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	<input type="checkbox"/> 改善の余地はある	<input type="checkbox"/> 妥当ではない
	対象・手段の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	<input type="checkbox"/> 改善の余地はある	<input type="checkbox"/> 妥当ではない	
<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">市が関与すべき妥当性</td> <td style="padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> 市が関与すべき</td> <td style="padding: 2px;"><input type="checkbox"/> 民間でも可能</td> <td style="padding: 2px;"><input type="checkbox"/> 民間で実施すべき</td> </tr> </table> <p style="margin-top: 5px;">(上記選択の理由)                      地区コミュニティ等の枠を越え、行政・医療・福祉・教育・産業等の幅広い分野における取り組みの方向性を提示し、具体的な展開をコーディネートする役割は、行政しか担えない。</p>	市が関与すべき妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が関与すべき	<input type="checkbox"/> 民間でも可能	<input type="checkbox"/> 民間で実施すべき	
市が関与すべき妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が関与すべき	<input type="checkbox"/> 民間でも可能	<input type="checkbox"/> 民間で実施すべき		
効率性	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">事業費の削減余地</td> <td style="padding: 2px;"><input type="checkbox"/> 削減の余地がある</td> <td style="padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地はない</td> </tr> </table> <p style="margin-top: 5px;">(上記選択の理由)                      関係機関及び事業の調整に要する経費が事業費のほとんどで、甌島の各支所とも連携・協力しながら取り組んでいる。</p>	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地はない	
	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地はない		
<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">要員配置の削減余地</td> <td style="padding: 2px;"><input type="checkbox"/> 削減の余地がある</td> <td style="padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地はない</td> </tr> </table> <p style="margin-top: 5px;">(上記選択の理由)                      藺牟田瀬戸架橋の整備後の地域のあり方について、全体的な方向性を整理するためには、庁内横断的な体制の構築と本事業に従事する職員の増員が不可欠である。                      同時に、地域・住民との包括的な調整を行うための地元での組織強化が求められる。</p>	要員配置の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地はない		
要員配置の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地はない			
有効性	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">成果の達成度</td> <td style="padding: 2px;"><input type="checkbox"/> 達成度はかなり高い</td> <td style="padding: 2px;"><input type="checkbox"/> 達成度はやや高い</td> <td style="padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> 達成度は低い</td> </tr> </table> <p style="margin-top: 5px;">(上記選択の理由 ※成果指標の過去の動向把握(5段階)結果を含めて選択理由を記入)                      ●過去の動向把握…<input type="checkbox"/>大きく改善、<input checked="" type="checkbox"/>改善、<input type="checkbox"/>ほぼ横ばい、<input type="checkbox"/>減少、<input type="checkbox"/>大きく減少                      平成24年度と25年度の単純比較においては、社会動態の改善が見られるものの、依然人口減少の進行は進んでいる状況であることから、引き続き雇用の創出等による社会動態の改善が必要である。</p>	成果の達成度	<input type="checkbox"/> 達成度はかなり高い	<input type="checkbox"/> 達成度はやや高い	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度は低い
	成果の達成度	<input type="checkbox"/> 達成度はかなり高い	<input type="checkbox"/> 達成度はやや高い	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度は低い	
<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">成果の向上余地</td> <td style="padding: 2px;"><input type="checkbox"/> 余地がかなりある</td> <td style="padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> 余地がある程度ある</td> <td style="padding: 2px;"><input type="checkbox"/> 余地はほとんどない</td> </tr> </table> <p style="margin-top: 5px;">(上記選択の理由)                      本年度策定する「甌島ツーリズムビジョン」による新たな旅行商品の開発、藺牟田瀬戸架橋完成による全島を対象とした広域観光の実現などにより、新たな雇用が創出され社会動態の好転が期待できる。</p>	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 余地がかなりある	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がある程度ある	<input type="checkbox"/> 余地はほとんどない	
成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 余地がかなりある	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がある程度ある	<input type="checkbox"/> 余地はほとんどない		
4 事務事業の改革・改善の方向性 (Action)					
二次評価結果	今後の改革の方向性 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの上で継続 ⇒ 今後の方向性： <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合 <input type="checkbox"/> 手段の改善 <input type="checkbox"/> 移管 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止				
	上記方向付けの理由 甌島地域の振興については、藺牟田瀬戸架橋の整備により地域の一体化が図られるタイミングで、行政機能等の配置をはじめとする地域課題を包括的に整理することが不可欠であり、スケジュール感を持った対応が必要である。				
改革・改善の内容とそれを実施していくための手段・計画 地元が全体として議論できる組織及び体制と、これに対応していく行政の横断的体制と一元的に調整する組織の強化が急務である。 また、地域での生活支援など身近な課題と、地域全体として議論し、結論を得る課題を総体的に整理していくことが不可欠である。					
外部評価結果	事務事業の視点別評価 妥当性 ⇒ <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い 効率性 ⇒ <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い 有効性 ⇒ <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い				
	今後の改革の方向性 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しの上で継続 ⇒ 今後の方向性： <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合 <input type="checkbox"/> 手段の改善 <input type="checkbox"/> 移管 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 まとめ（補助金等評価を含む。）				

所管部課名	企画政策部 企画政策課		担当者	山下 真司				
事務事業名	甌島地域振興事業							
根拠法令								
補助経過年数	6年以上10年以下							
平成26年度 予算額	400 千円	国県支出金	その他		一般財源	その他の内容		
		千円	千円		400 千円			
	指標名			目標値		目標年度		
成果指標①	地域協議課題の整理			年1回		平成31年度		
成果指標②	甌島における負の社会動態の解消			±0		平成31年度		
補助対象者	薩摩川内市甌島振興協議会							
補助対象経費	旅費、印刷製本費、通信運搬費、手数料、運営委託、機器等賃借料、備品購入費、消耗品費、その他必要であると認められる経費							
補助対象事業・活動の内容	甌島振興協議会の運営、藺牟田瀬戸架橋建設促進に係る要望活動の実施、甌島地域振興に係る連絡・調整							
	分類	<input type="checkbox"/> 運営補助のみ <input type="checkbox"/> 事業補助のみ <input checked="" type="checkbox"/> 運営補助と事業補助の両方 <input type="checkbox"/> その他						
補助金額又は補助率	400,000円							
上記項目の積算方法	補助対象経費のうち予算の定める額以内							
補助を 受ける 3ヶ 年の 事業 (団 体) 等 の 決 算 状 況	項目	平成23年度		平成24年度		平成25年度		
		金額(円)	割合(%)	金額(円)	割合(%)	金額(円)	割合(%)	
	収入	自己資金	48,061	6.4%	45,000	6.6%	42,000	7.5%
		会費収入	48,000	6.4%	45,000	6.6%	42,000	7.5%
		事業収入		0.0%		0.0%		0.0%
		寄付金・その他助成	61	0.0%		0.0%		0.0%
		市補助金	500,000	66.2%	400,000	58.5%	400,000	71.0%
		雑入		0.0%	54	0.0%	48	0.0%
		(前年度繰越金)	206,811	27.4%	238,139	34.9%	121,232	21.5%
	計	754,872	100.0%	683,193	100.0%	563,280	100.0%	
	支出	事業費	473,537	62.7%	554,591	81.2%	381,863	67.8%
		人件費		0.0%	0	0.0%		0.0%
		その他事務費	43,196	5.7%	7,370	1.1%	8,235	1.5%
				0.0%		0.0%		0.0%
				0.0%		0.0%		0.0%
				0.0%		0.0%		0.0%
		(翌年度繰越金)	238,139	31.5%	121,232	17.7%	173,182	30.7%
計	754,872	100.0%	683,193	100.0%	563,280	100.0%		
支出計/前年度支出計				90.5%		82.4%		
自己資金/前年度自己資金				93.6%		93.3%		
翌年度繰越金/市補助金		47.6%		30.3%		43.3%		
交付件数		1		1		1		
成果指標の推移①		1		1		1		
成果指標の推移②		-73		-79		-12		
特記すべき事項等	①【今年度改善点】 甌島の意見集約機関としての機能強化 ②【前回評価への回答】 特になし ③【事業のPR方法】 「甌島振興だより」添付 ④【費用対効果】 特になし ⑤【補助事業以外の事業】 特になし ⑥【その他】 特になし							

要件	項目	評価	評価した内容についての説明
公益性	補助の対象となる事業又は補助を受ける団体等の活動が、直接又は間接に、不特定多数の市民の福祉の向上及び利益の増進に寄与している。	B	甌島地域の地区コミ会長や経済界、女性団体等各団体の代表から構成され、甌島地域の要望活動や行政との連携を図ること等甌島振興に寄与している。
必要性	次のいずれかに該当するものである。	B	①に該当。 少子・高齢化、過疎化など本土地域よりも深刻な課題を抱える甌島地域において、行政と連携し、合併前の行政区域の枠を超えた、地域振興のための課題への取り組みや、要望活動を行える唯一の団体である。
	① 特定の目標・成果の達成に向けて、一定の団体等に一定の補助を行うことが直ちに必要であると認められる。 ② 社会的弱者の救済、地域的ハンディの克服等の観点から、当面、補助を通じた行政の支援が必要であると認められる。		
有効性	達成しようとする目標・成果が市民ニーズに合致しており、かつ、その目標・成果の達成に向けて、適切な効果を生じている。（その目標・成果を測るための適当な効果指標の設定がなされている。）	B	市本土部とは比較にならない甌島の少子・高齢化等の進行に対応した持続できる地域づくりについて、行政と連携した活動を行っており、藺牟田瀬戸架橋の完成の目処が立ったことから、今後は架橋完成後の甌島のあり方について、島内での議論、意見集約の役割を担う組織である。
適格性及び妥当性	① 補助の対象となる事業について、行政が直接実施するよりも、行政以外の者が行う方が適当であると明確に認められる。	B	今後の甌島の地域振興にあたっては、行政と地元が地域の抱える課題を共有し、連携した施策の展開を図ることが不可欠であり、当面は現在の体制が必要である。
	② 補助率又は補助額が、明確な根拠によって積算されたものであり、かつ、社会経済情勢に照らし、著しく妥当性を欠く水準とはなっていない。（交付要綱の補助基準）	B	国県等の関係機関への要望活動と年数回の甌島島民への広報誌発行が活動費の大部分であり、財源として会費で賄えない部分を補助金で担保しており、活動に対する補助額としては妥当と考えている。
	③ 補助を受ける団体等の活動状況等に照らし合わせて、自助努力がみられないなど、明らかに半永続的・固定的な補助にはならないと見込まれる。	B	甌島地域の振興についての地元受け皿的組織であり、当面は必要である。
	④ 当該補助事業以外にその団体が行う活動の状況においても一定の公益性が認められる。	A	甌島4地区の各機関を代表する委員で構成されており、甌島の振興、課題の検討を議論できる唯一の組織である。
	⑤ 特定の目標・成果の達成に向けて、当該補助金等の交付以外に適当な政策手段がないか、又は当該補助金等の交付が最も適当な政策手段であると明確に認められる。	B	これまで藺牟田瀬戸架橋建設促進のための地元からの要望母体として活動を行ってきており、架橋建設事業は順調に進捗しているところである。 なお、今後については架橋完成後の地域のあり方について議論が必要であり、当面は現体制が必要である。
	⑥ 補助の対象となる経費が、明確に規定され、その内容は補助目的に照らし、公費を充てるものとして、著しく妥当性を欠くものとはなっていない。	A	要望活動、情報提供事業及び甌島振興に関する島内の意見集約機関としての事業を行っており、公費を充てる事業として妥当であると判断する。

〈補助金の見直し結果〉

内部評価（一次）結果	<p>〈今後の改革の方向性〉</p> <p><input type="checkbox"/> 現状のまま継続</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 見直しの上で継続</p> <p>⇒今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 他の補助金と統合 <input checked="" type="checkbox"/> 補助内容の改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 移管</p> <p><input type="checkbox"/> 休止</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止</p>
	<p>〈上記方向の理由〉</p> <p>藺牟田瀬戸架橋の完成の目処も立ってきたことから、架橋完成後の甌島のあり方について、現在の甌島振興協議会の委員の分野、年齢構成の幅を広げ、より活発な議論を誘発したい。</p>
	<p>〈改革・改善の内容とそれを実施していくための手段・計画〉</p> <p>甌島振興だよりの発行作業を見直すとともに、地域課題についての議論ができるよう組織体制を強化する。</p>

## 薩摩川内市甌島振興協議会補助金交付要領

(趣旨)

第1条 この要領は、薩摩川内市補助金等交付規則（平成16年薩摩川内市規則第67号。以下「規則」という。）第4条の規定に基づき、及び薩摩川内市補助金等基本条例（平成18年薩摩川内市条例第40号。以下「条例」という。）を実施するため、薩摩川内市企画政策部関係補助金等交付要綱（平成19年薩摩川内市告示第98号）第2条の表に掲げる薩摩川内市甌島振興協議会補助金に関し必要な事項を定めるものとする。

(補助事業等の要件)

第2条 薩摩川内市甌島振興協議会補助金に係る補助事業等は、次の各号に定める要件を満たすものでなければならない。

- (1) 薩摩川内市甌島振興協議会（以下「協議会」という。）の円滑な運営を図るものであること。
- (2) 協議会は、甌島地域の振興を図るため、市と連携した協議及び具体的な要望活動等を行うものであること。
- (3) 甌島地域の振興を図ることが明白であること。

(補助金の額)

第3条 薩摩川内市甌島振興協議会補助金の額は、次条に定める補助対象経費のうち予算で定める額以内とする。

(補助対象経費)

第4条 薩摩川内市甌島振興協議会補助金は、協議会の運営に係る次の各号に掲げる経費について交付する。

- (1) 普通旅費
- (2) 研修旅費
- (3) 印刷製本費
- (4) 通信運搬費
- (5) 手数料
- (6) 運営委託
- (7) 機器等賃借料
- (8) 備品購入費
- (9) 消耗品費
- (10) 前各号に掲げるもののほか、特に必要であると認められる経費

(交付の申請)

第5条 薩摩川内市甌島振興協議会補助金の交付の申請に係る規則第5条の市長が別に指定する日は、毎年4月30日とする。

(交付の基準)

第6条 薩摩川内市甌島振興協議会補助金の交付の決定は、次の各号のいずれかに該当する場合には、これを行わない。

(1) 当該補助事業等が第2条の要件を満たさない場合

(2) 前号に掲げる場合のほか、薩摩川内市甌島振興協議会補助金を交付することが適当でない認められる場合

(実績報告)

第7条 薩摩川内市甌島振興協議会補助金の実績報告に係る規則第15条第3号の市長が必要と認める書類は、次の各号に掲げるものとする。

(1) 当該補助事業等の必要性、効果等について当該補助事業者等が自ら行った評価に関する書類

(2) 当該補助事業等に係る状況報告写真

(3) 当該補助事業等に係る領収書又は請求書

(4) 前3号に掲げるもののほか、特に必要であると認められる書類

(効果の測定)

第8条 薩摩川内市甌島振興協議会補助金の効果(条例第4条第2項第1号の効果をいう。)は、各事業の項目及び内容並びにその実施による成果等を用いて測定するものとする。

(補助事業者等の責務)

第9条 薩摩川内市甌島振興協議会補助金の交付を受けた補助事業者等は、本市の甌島地域の振興に積極的に協力するよう努めるものとする。

(その他)

第10条 この要領に定めるもののほか、必要な事項は、企画政策部長が別に定める。

附 則

1 この要領は、平成19年4月1日から施行する。

2 薩摩川内市甌島振興協議会補助金に係る条例第4条第1項の規定による見直しについては、平成21年度において検討を行い、その結果に基づいて、平成22年度において所要の措置を講ずるものとする。